

I. 地域概況

本植物群落動態調査の対象となった地域は、栃木県足利市の一般廃棄物最終処分場を中心とする地域である。一般廃棄物最終処分場は、足利市街地から北方約 2.5 km の月谷町福和田地区に位置している。調査地域周辺は、スギ、ヒノキの植林、アカマツ植林や雑木林であるクスギーコナラ群集によって囲まれている。また、集落の周辺は水田に利用されている。調査対象として、永久植生調査枠が設けられているのは、処分場の南側斜面に生育するスギ、ヒノキ植林内である。

足利市は、北部は足尾山地、南部は関東平野の一角に属し、都心から約 80km の内陸部に位置している。

気候的には比較的温暖で、年平均気温は 14.3°C、日最低平均気温は 0°C 以下になる月はない。降水量は 8～9 月が最大となり、1～2 月に最低となる太平洋岸気候に属している。冬には北西の強風が吹くが、これは北関東特有の空っ風と呼ばれるもので、冬の乾燥を促進させる。

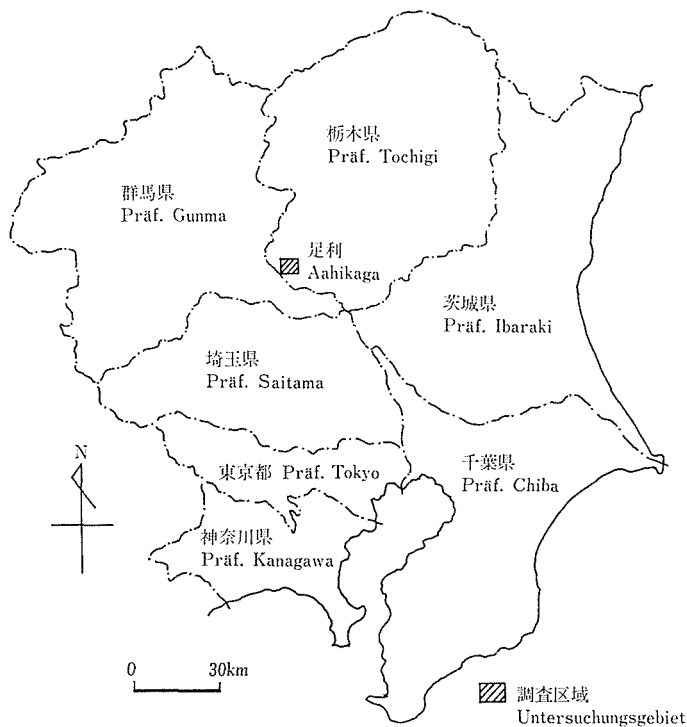


Fig. 1 植生調査地域位置図。

Lage des Untersuchungsgebietes.

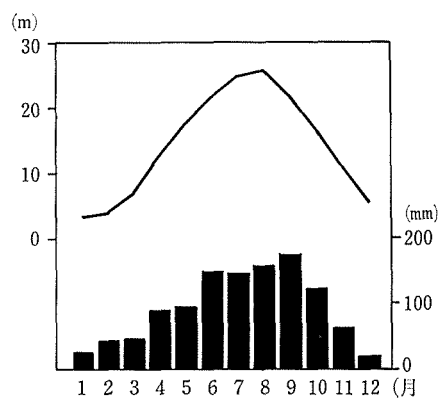


Fig. 2 足利市の月別平均気温と降水量
(1971~1980年)

Monatliche Temperatur und Niederschlag der
Stadt Ashikaga (vom 1971 bis 1980)



Fig. 3 調査区域の概観。
Eine Übersicht der Untersuchungsareale.